

岡山市区づくり推進事業報告書

(地域活動部門)

平成 28 年 4 月 18 日

岡山市長 大森 雅夫 様

フリガナ ソウメイガックレンゴウジシュボウサイカイ
 団体名 操明学区連合自主防災会
 所在地
 連絡先
 フリガナ
 代表者氏名

実施分野	(該当の分野を○で囲んでください) ア 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり ☑ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名	「操明学区防災フロント(最前線)事業」
事業実施区域 (小学校区)	岡山市中区 操明小学校区
事業 実 施 内 容	1) 組織力と役員力等の向上・充実。 ・ 2企業や行政団体と要配慮者避難所としての設営交渉。 ・ 3企業と避難場所使用協定の締結。 ・ 連合町内会より社協など、7活動団体と連携・協働の開始。 ・ 14単位自主防災会で防災訓練を自主企画して実施。 ・ 14単位自主防災会で、各班意識向上のため防災機器等の配備点検。 ・ 避難誘導、救出救護、町内会長用避難マップの作成。 ・ 要配慮者用マニュアル付避難マップの作成 2) 人材の発掘と育成 ・ 新しい防災協助員が6名誕生、合計12名が各単位自主防災会で活躍中。 ・ 連合役員の中から防災士合格。 3) 要配慮者名簿(受容対象者等)作成 ・ 27年度を基点に、要配慮者名簿として、民児協など4団体と協働で作成。 ・ 市より配布の名簿、25年度からの共助名簿、各町内からの提出名簿を突き合わせ検証作成。 4) 広報と住民啓発活動 ・ 連町広報紙「操明ネットワーク」「操明ホームページ」に掲載。 ・ 住民啓発防災アンケートの実施 ・ 新しい防災役員、小学校保護者、防災訓練参加者等を対象に実施。

事業目的としての達成状況と効果

- 防災に対する個人の意識と個人の自助対応力の向上を図る。
- 住民の防災対策として、避難誘導、救出救護、情報、消火各班、それぞれの意識や行動は、少しずつ高まりつつある。
- ・ 各種会議、研修会、訓練、講演会への参加。
6月から27回以上
 - ・ 防災意識高揚のためのジャンル別アンケートの実施、調査分析。
小学校保護者、新しい役員、防災訓練参加者、会議参加者
 - ・ 防災意識高揚のため防災活動実践用機器配備の好評。
通報連絡具、運搬具、表示具、防災着衣など
 - ・ 役員間で、対策実施への学び研さんと振り返りが普通におこなわれる。
- 防災対策組織をより実働実践型へ再構築めざす。
- ・ 役員が自ら学び、周りへ伝達することの習慣化が芽生える
 - ・ 対策実施が各種団体組織で横断的に取り組める協働型になりつつある。
 - ・ 役員参加型研修会の充実を目指し学びの効果を上げる。
 - ・ 14防災会ごとの要支援者が特定されて平常時声掛け活動等ができる。

企画などの工夫と情報公開

- ・ 操明ホームページで訓練模様を毎年上映している。
- ・ アンケートの設問は、ジャンル別に、特徴を出すようにしている
- ・ 参加者の勧奨のため、ぜんざい等の炊き出し、非常食を試食している
- ・ 防災グッズは、参加意欲を高めるため必須アイテムになっている

次年度計画	1) 人材の発掘と育成 緊急時活動に於ける協働者(多様業種の専門資格保持者の発掘登録。 新役員の防災活動基本研修会・訓練。 防災活動関係の資格取得。 2) 執行事項 協働団体との災害や事故の定義付け整理。 緊急時避難活動要配慮者の選択と同意づけ。 27年度を名簿を基本として毎年2月度更新 要配慮者避難支援活動の研修会・訓練の充実。 一次避難所の円滑運営マニュアル作成。 住民の防災意識向上と課題のアンケート調査 災害時通報、避難準備、避難、誘導、救出救護の円滑マニュアルの見直しと作成。
事業実施者としての評価・感想など	・ 防災活動協力者(協助員)の発掘(支える人)はなかなかである ある程度時間の余裕があり、出来れば近くにお勤め先がある等々条件が必要。 ・ 町内会防災役員の任期延長、再任・再々任のお願いをする 役員改正年度に当たり、新役員の防災研修、訓練終了までの空白を埋める。 非常時の時、訓練を受けた各班中心的な人が必要である。(協助員) ・ 参画意欲を高める参加型の学習方式の採用が必要となる 連合自主防災会で研修、訓練 ⇄ 単位自主防災会で住民と研修、訓練、反省会

■ 収 支 決 算 書

◆ 収 入

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
岡山市補助金	1,131,000	1,102,800	
負担金	283,000	275,750	操明学区連合自主防災会
参加費			
利息		6	
計	1,414,000	1,378,556	

◆ 支 出

単位:円

項 目	予 算 額		決 算 額		内容(必ず記載してください)
	総事業費額	補助対象額	総事業費額	補助対象費額	
消耗品費	860,000		885,636		ラベルカートリッジ・肩掛け式名札 防災チョッキ・メガホン・蛇腹タンク代 書類入れ・インク代
印刷製本費	380,000		421,897		コピー代・コピー用紙代・版下政策 マップ製作費。写真プリント代
会議費(食糧費)	35,000		6,360		飲料代
使用料	129,000		23,544 11,772 11,772		12、1月トランシーバーリース料 2月トランシーバーリース料 3月トランシーバーリース料
通信運搬費			8,513		トランシーバーリース返却運送料 トランシーバー電波使用料
手数料			6,912		トランシーバー使用許可申請料 // 許可申請料・送金手数料
その他	10,000		2,150		租税公課(電波使用申請印紙代)
計	1,414,000		1,378,556		

■事業実施にあたっての協働の状況

協働した団体・企業・大学等	協働した内容
市危機管理課・単位町内会 操明学区連合町内会・福祉協議会他14団体 連合町内会・民児協・福祉協他7団体 単位町内会会長・各班長 小学校・PTA・かがやきクラブ・民生委員・市地域担当員 福祉協議会・民生委員・町内会長・班長 小学校・ふれあいセンター・28町内会・(株)林原他7企業 編集委員会、幼小学校、社会福祉協他10団体 電子町内会 操明学区福祉活動計画推進委員会	新防災会役員研修会の開催 操明フロント事業立ち上げ協力 防災企画・推進会議への参画 防災避難避難マップ作成 防災アンケート調査実施・分析 要配慮者名簿作成 防災訓練の参画と支援 操明ネットワーク編集・発行 操明ホームページ取材・上映 防災に関わる福祉課題の調査や分析

事業施設経過報告

年 月 日	内 容
27、6、13	防災会役員会議 年間計画の変更及び区づくり事業案説明と了承
6、25	小学校避難訓練 子供たちの防災避難訓練と町内防災会の擦り合わせ
7、11	単位自主防災会新役員研修会 市危機管理課より講師 各防災班役割研修会・アンケート調査
7、26	夏祭り 会場内の警備活動
8、6	操明ネットワーク編集会議 9月度 防災会からのお知らせ 全戸配布
8、7	区づくり事業企画推進会議 主要四団体区づくり事業活動方針了承 区づくり事業、購入用品発注の準備 小学生保護者アンケート調査について
8、22	操明学区連合町内会役員総会 区づくり事業案説明と了承
9、1	区づくり事業資金振り込み確認
9、5	連合自主防災会会議 11.3学区防災訓練に向けて 区づくり資金からの機器・用品の取り扱いと今後の流れ トランシーバー発注についての試作 アンケート調査の仕分け
9、14	幼稚園避難訓練・お迎え訓練訓練 幼児達の避難状況と父兄のお迎え訓練のあり方を見学
9、17	肩掛け式名札・防災チョッキ各200入荷
9、26	区づくり事業推進会議 11.3防災訓練の方向性の決定 購入した防災機器・用品に防災名・担当班名の貼り付け準備
9、27	学区行事 体育祭 会場設営・会場警備
9、30	ハンドサイレン120入荷 防災会長、役員用マップ入荷
10、2	区づくり事業推進会議 市水道局、福祉協議会の防災訓練参加について
10、10	学区敬老会 小学生太鼓クラブ見守りと器具の運搬設営
10、15	要配慮者用避難マップ入荷
10、16	岡山市水道局給水訓練参加 単位自主防災会の給水給食班有志が参加
10、18	区づくり事業購入防災用品仕分け 購入機器・用品にラベル貼り付け作業 トランシーバー入荷
10、24	区づくり事業購入備品配布 防災会長 避難誘導班 救出救護班 情報班

27、10、24	消火班
11、2	操明ネットワーク編集会議
	12月 防災会からの報告 全戸配布
11、3	学区行事 防災訓練
	14単位自主防災会による自助と要配慮者避難支援訓練
	訓練参加者アンケート調査
	推進委員会訓練反省会
	操明ホームページ編集(電子町内会)
12、20	防災会役員会議
	今年の反省と来季の課題素案作り
	桜祭り、出品検討
28、1、23	小学校避難・児童引き渡し訓練
2、1	操明ネットワーク編集会議
	3月度 防災会からの報告 全戸配布
2、5	地域福祉活動策定委員会
2、10	桜祭り実行委員会
2、27	防災会役員会議
	連合町内会役員改正と引継ぎ
	要配慮者名簿の最終確認
	27年度アンケート結果から
3、1	連合備品、棚卸